

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業 給付金事業				②事業番号	4209	
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	2 年度	⑤終了予定年度	令和3 年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他 法令等の名称	
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	2・3	細目 6・4
⑨担当部名	健康子ども部			⑩担当課名	保健推進課		
				会計 一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内医療機関等	① 市内対象医療機関等	か所
② 妊産婦	② 妊産婦	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
①緊急事態宣言が発出された令和2年4月7日以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら医療等の提供を実施している、もしくは実施していた医療機関等で、令和3年3月1日時点で泉南市内所在地を有する事業所に個別に案内、申請書を送付し、支援金を給付する。 病院等(有床)100万円 診療所(無床・医科)・診療所(歯科)・薬局・助産所20万円	① 支援金受給医療機関	か所
②妊産婦が新型コロナウイルス感染症に対するリスクを軽減し、安心して出産できる環境づくりを目的に、令和2年度泉南市子育て臨時特別給付金の対象とならない令和2年5月25日(緊急事態宣言解除)時点で妊娠または出産している方に1万円を給付する。	② 支援金受給者数	人
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
①医療現場において感染の危険と隣合わせで新型コロナウイルス感染症患者の治療等を行う医療機関等に支援金を給付することで医療等の提供の継続を応援する。	① 支援金受給医療機関割合	%
②経済的支援を行うことにより、妊産婦が新型コロナウイルス感染症に対するリスクを軽減し、安心して出産できる環境づくりに寄与する。	② 支援金受給者数	%
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
①新型コロナウイルス感染症のまん延する状況においても必要な医療等の提供により、疾病の早期発見、早期治療、病状の悪化の防止につながる。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
②妊娠、出産において、経済的な支援を実施することで、安心して出産、育児にのぞむことができる。	施策大(節)	1 すべての人が暮らし、その個性が発揮できるまち
2-2-2-2 母子保健事業の充実につながる	施策中	1 子どもと親の健康づくりの推進
	施策小	1 母子保健事業の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込み	R4目標	
対象指標①	市内対象医療機関等	か所			61			指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	妊産婦	人			310			
活動指標①	支援金受給医療機関	か所			59			
活動指標②	支援金受給者数	人			294			
活動指標③								
成果指標①	支援金受給医療機関割合	%			97			
成果指標②	支援金受給者数	%			95			事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人			0.03			
	任期付職員	人			0.00			
	臨時職員	人			0.00			
	人件費(投入人員*単価)	千円			231			
	直接事業費	千円			21,200			
	総事業費	千円			21,431			①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による事業 計18,200千円
財源内訳	国庫支出金	千円			18,200			②一般財源
	府支出金	千円			0			
	受益者負担金	千円			0			
	その他特定財源	千円			3,020			
	一般財源	千円			211			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言発出に伴い、感染への不安の高まりの中で、感染への不安を軽減を図り、医療体制を維持する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	令和2年度の予防接種の改正に伴い、新型コロナウイルスワクチン接種が令和3年2月より医療従事者への接種が開始となり、高齢者等へと対象者の拡大とともに、接種者が増えることにより集団免疫の獲得につながると予測される。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症拡大時に伴う、不安に対して、対応した事業であった。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	経済的支援であるため、成果はみられている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	未申請医療機関等及び妊産婦には再度、個別で電話にて案内、申請勧奨を実施した。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	他課で重複する支援策がないか検討、調整する必要がある。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業で予定外の一時的な事業であり、感染の収束がみられれば、実施する必要性はないため。
--	----------------	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	D	新型コロナウイルス感染症の感染状況、生活への状況により事業の実施の検討が必要。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (R2 年まで) (年 から) (年 から)				
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			—		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			—		